

2016年度（平成28年度）

コース名 地球科学コース

領域名 地球表層科学領域

教員名 金田 平太郎

電子メール kaneda 理 faculty.chiba-u.jp

※メール送信の際は、「理」を半角@に変更してください。

（1）研究論文などのリスト（印刷中を含む）

著書

	著者・発表者等	タイトル	発表雑誌・会 合等	巻・号	頁	発行・発 表年等	掲載論文の DOI (付与されている 場合)
(1)	日本地形学連合編 (分担執筆)	『地形の辞典』	朝倉書店		1032 pp.	2017	

原著論文

	著者・発表者等	タイトル	発表雑誌・会 合等	巻・号	頁	発行・発 表年等	掲載論文の DOI (付与されている 場合)
(1)	Hashima, A., T. Sato, H. Sato, K. Asao, H. Furuya, S. Yamamoto, K. Kameo, T. Miyauchi, T. Ito, N. Tsumura, <u>H. Kaneda</u>	Simulation of tectonic evolution of the Kanto Basin of Japan since 1 Ma due to subduction of the Pacific and Philippine Sea plates and the collision of the Izu-Bonin arc	<i>Tectonophysics</i>	679	1-14	2016	
(2)	Toda, S., <u>H. Kaneda</u> , S. Okada, D. Ishimura, and Z.K. Milton	Slip-partitioned surface ruptures for the Mw 7.0 16 April 2016 Kumamoto, Japan, earthquake	<i>Earth, Planets and Space</i>	68	188	2016	
(3)	菅沼悠介・川又基人・白水 薫・小山拓志・土井浩一郎・ <u>金田平太郎</u> ・青山雄一・早河秀章・小花和宏之	南極における無人航空機（UAV）を用いた高解像度地形情報取得の試み	地学雑誌			印刷中	

報告書

	著者・発表者等	タイトル	発表雑誌・会 合等	巻・号	頁	発行・発 表年等	掲載論文の DOI (付与されている 場合)
(1)	菅沼悠介・ <u>金田平太郎</u> ・小山拓志・外田智千・赤田幸久	中央ドロンイングモードランド地学調査隊報告 2015-2016 (JARE-57)	南極資料	60	73-116	2016	

（2）卒業研究、大学院修士および博士論文修了指導人数

- ・卒業研究 3名
- ・大学院修士 2名
- ・大学院博士 0名

(3) 教育業績 (自己申告、テキストの作成など、授業の工夫など)

担当授業 (普遍)

「地震と古地震を読み解く」「地学基礎実験 D」

担当授業 (学部)

「地形学 I」「地形学実験 I」「地形学実験 II」「地質学野外実験 II」

担当授業 (大学院)

「地形学IV」

(4) 国際会議出席と招待リスト

・なし

(5) 新聞や雑誌等で報道された研究成果等 (報道媒体, 報道年月日, 報道内容等)

・なし

(6) 国際並びに国内学会での受賞 (賞名, その内容, 受賞理由等)

所属	職種	氏名	賞名	備考	年度
理	准教授	金田平太郎	Earth, Planets and Space 誌 2016 年 Highlighted Paper	論文著者 (遠田晋次, 岡田真介, 石村大輔, Z. K. Mildon) との共同受賞	28
理	准教授	金田平太郎	日本活断層学会 活断層フォトコンテスト 特別賞		28

(7) 国際共同研究 (共同研究名, 研究内容等)

所属	職種	氏名	共同研究名	研究内容	年度
理	准教授	金田平太郎	中国雲南省, 紅河断層に関する 変動地形学的調査	中国, 浙江大学および京都大学防災研究所と共 同で中国雲南省, 紅河断層に関する変動地形学 的調査を実施した.	28

(8) 地域・社会と連携した教育・研究活動, 学会、国、県などへの協力, など

- ・国土交通省国土地理院 全国活断層帯情報整備検討委員会 委員
- ・日本活断層学会 渉外・広報委員会 委員

(9) 特許 (発明者名, 発明の名称, 出願日, 出願番号, 整理番号等) (現時点で公表できるもののみ)

・なし